



NHO Shibukawa Medical Center

ウイズ

— No.86 —

平成 29 年 5 月 (2017 年)

編集発行

独立行政法人 国立病院機構 渋川医療センター

電話 0279-23-1010

FAX 0279-23-1011

E-mail:shibukawamc@hosp.go.jp

http://www.hosp.go.jp/~shibukawamc/

渋川医療センター 広報誌



吾妻新橋より子持山を望む

基本理念

北毛地域の基幹病院として地域の医療機関と連携しその役割を果たします。

基本方針

1. 患者さんの気持ちに寄り添った医療を実践します。
2. 十分な情報を提供し、共に考える医療を行います。
3. がん・呼吸器疾患・重症心身障害児(者)の専門病院として社会に貢献します。
4. 地域医療支援病院として、救急医療を含め地域の医療機関と連携し地域医療に貢献します。
5. 生命の尊さと人権を尊重し、安全な医療を提供します。
6. 教育・研究事業に積極的に取り組み、質の高い医療を常に目指します。
7. 良質な医療を継続的に確保するため、健全な経営と適正な運営に努めます。

目次

渋川地域医療支援センター運営委員会を開催して	1
新型インフルエンザ訓練を実施しました	2
渋川医療センター緩和ケア研修会を開催して	3
第1回地域医療支援病院運営委員会を開催しました	4
渋川青年会議所50周年記念事業開催	5
看護学生インターンシップを開催して	7
平成28年度渋川医療センター職員表彰式	8
新入職員を迎えて	9
渋川・吾妻保健医療圏基幹病院事務部長懇話会について	10

シリーズ

●重症心身障害病棟だより	11
●障害者虐待防止研修会を開催しました	12
●患者さんにとって耳寄りな情報 バスの運行本数が増えました!!	13
●我が家のアイドル/私の趣味	14
●外来診療担当医表	15
●セカンドオピニオン担当表	17

渋川市地域医療支援センター運営委員会を開催して

前企画課長 **関川 義明**
(現 宇都宮病院事務部長)

平成29年1月16日(月) 渋川医療センター大会議室において「第1回渋川市地域医療支援センター運営委員会(以下「同委員会」という。)」が開催されました。渋川市地域医療支援センター(以下「同センター」という。)は、地域医療及び市民福祉の充実を図るため渋川医療センター内に設置され、指定管理者として渋川医療センター院長が指名されています。

同センターに求められる業務としては、主に「地域医療支援業務」であり、渋川市の地域医療の現況及びその展望に鑑み必要とされる以下の業務を行うこととなります。



委員長川島渋川地区医師会会長あいさつ

渋川市地域医療支援センター条例第5条 (平成27年9月11日条例第37号)

- ①救命救急医療体制の充実に資するもの
- ②災害医療への備えに資するもの
- ③放射線治療の充実に資するもの
- ④地域医療を担うために必要な診療体制の充実に資するもの
- ⑤地域医療支援機能の充実に資するもの
- ⑥利用者の快適性の向上に資するもの
- ⑦前各号に掲げるもののほか、市長が必要と認め指示する事項があるときは、当該事項に適合するもの



事務局説明風景

同委員会は、今後の同センターの「管理・運営」や「地域で必要な医療機能及び医療体制の充実強化」「同センターの適切かつ円滑な運営」に関することを協議、検討することとされており、渋川市長から委嘱を受けた外部有識者を含む以下の所属機関・団体から専門的な見地からの助言等を受け、運営していくこととなります。

今後、同センターが北毛地域の基幹病院として地域の医療機関と連携し、患者さんの気持ちに寄り添い、共に考える医療を実践、提供する渋川医療センターと一体となって地域に根ざし地域住民に愛される施設として、運営して参ります。

【運営委員会委員 (計14名)】

(外部有識者)

- ①群馬県健康福祉部 (医務課長)
- ②群馬県渋川保健福祉事務所 (所長)
- ③渋川地区医師会 (会長、会員)
- ④渋川市社会福祉協議会 (会長)
- ⑤渋川広域消防本部 (消防長)
- ⑥渋川地区広域市町村圏振興整備組合 (事務局長)
- ⑦渋川市自治会連合会 (会長)

(渋川医療センター)

- ①院長
- ②特命副院長
- ③事務部長
- ④看護部長

(渋川市)

- ①副市長
- ②保健福祉部長



渋川医療センター委員

「新型インフルエンザ訓練」 を実施しました



副看護師長／感染管理認定看護師 倉澤 幸

澁川医療センターは、澁川総合病院が担っていた地域の感染症対策の基幹病院としての役割を引き継ぎ、第二種感染症指定医療機関として7階に4床の感染症病床を有しています。新病院においては感染対策として感染症専用の入口や感染症専用エレベーターを設置し、他の患者さんとの接触を最小限にするように配慮しています。

新病院移転後も関係行政等とスムーズな連携が取れるように、定期的な訓練が必要となります。そこで今回、第1回目訓練として、平成29年1月31日(火)の13時30分～16時まで澁川保健福祉事務所主催による「平成28年度澁川地域新型インフルエンザ医療訓練」を実施しましたので報告します。



当日は澁川市担当者や警察、消防、澁川地域の医師会、歯科医師会、獣医師会、澁川地域の医療機関関係者の皆様、県内保健福祉事務所担当者など、57名の多岐にわたる職種の方々に多数の参加を頂きました。

今回の訓練は新型インフルエンザの国内発生早期を想定し、患者さん、澁川保健福祉事務所、澁川医療センター間での連絡体制確認として会議室にて連絡訓練を実施し、その後、患者さんの来院から病室への入室、澁川保健福祉事務所担当者による聞き取り調査を実際の診察室や病室を使用し行動訓練を実施しました。

訓練終了後の短い時間ではありましたが、感染症診察室や感染症病床について見学時間を設けました。参加された方からは「入院する入口や移動用エレベーターも配慮されていて、他の方に接触する機会が少なく

されていてよい」「前室とは別に、病室内での脱衣方法がポスターで明示されていてわかりやすく工夫されている」などの評価を頂きました。

今回の訓練内容を実際の場面に活かせるよう、更なる体制整備を行っていくと共に、今後も関係各所と連携を図れるようにしていきたいと考えています。



渋川医療センター緩和ケア研修会を開催して



緩和ケア科医長 小林 剛

平成29年2月11日（土）、12日（日）の2日間、当院ならびに群馬県内の緩和ケア指導者・精神腫瘍学指導者の協力を得て、「渋川医療センター緩和ケア研修会（主催：渋川医療センター、後援：渋川地区医師会）」を開催いたしました。この研修会は、西群馬病院での開催を含めると8回目の開催になります。研修会には、30名の医師（内訳は、院内から2名、近隣の病院から27名、開業医から1名）が参加され、2日間最後まで積極的に参加して頂き、大変学びの多い充実した研修会を開催することができました。

このような研修会を開催する背景としては、2007年に国会に提出されたがん対策推進基本計画で、「すべてのがん診療に携わる医師が研修等により、緩和ケアについての基本的な知識を習得する」ことが目標として掲げられたことが挙げられます。質の高い緩和ケアを『いつでも、どこでも、適切に』提供できるように、すべてのがん診療に携わる医師が緩和ケアの基本的な知識・技術を習得し実践することを目的とし、2008年度より全国各地のがん診療連携拠点病院において毎年開催されることになりました。特に拠点病院においては、がん診療に携わるすべての医師が緩和ケア研修会を修了することを目標としています。今後も年1回緩和ケア研修会を開催していく予定ですので、ご興味のある先生がいらっしゃいましたらご参加をご検討ください。

最後に、今回の研修会に参加していただきました先生方、そして研修会に協力して頂きました緩和ケア・精神腫瘍学指導者の先生方、裏方でお手伝いいただきました当院職員には、研修会を無事に開催することができ感謝を申し上げるとともに、みなさまの今後のご活躍を祈念しております。

研修会協力者：小屋紘子先生（渋川医療センター緩和ケア科）、三枝里江先生（群馬大学医学部附属病院麻酔科蘇生科）、風間俊文先生（群馬県立がんセンター緩和ケア科）、佐藤弘晃先生（渋川中央病院内科）、間島竹彦先生（渋川医療センター精神腫瘍科）、松川幸英先生（群馬大学医学部附属病院精神科神経科）

「渋川医療センター 緩和ケア研修会」プログラム

平成29年2月11日（土）第1日

開始時間	終了時間	所要時間	内 容	会 場	対応する開催指針の形式
8:00	8:30	30	受付		
8:30	8:45	15	開会	全体会場	講義
8:45	9:30	45	緩和ケア研修会の開催にあたって 緩和ケア概論—患者の視点を取り 入れた全人的なケアを目指して	全体会場	講義
9:30	9:40	10	休憩		
9:40	10:25	45	つらさの包括的評価と症状緩和	全体会場	講義
10:25	10:35	10	休憩		
10:35	12:05	90	がん疼痛の評価と治療	全体会場	講義
12:05	12:45	40	昼食		
12:45	14:15	90	疼痛事例検討	グループ室	グループ演習/ワークショップ
14:15	14:25	10	休憩		
14:25	15:25	60	地域連携と治療・療養の場の選択	全体会場	講義/グループ演習/ワークショップ
15:25	15:35	10	休憩		
15:35	17:20	105	精神症状	全体会場	講義
17:20	17:30	10	休憩		
17:30	19:00	90	オピオイドを開始するとき	全体会場	ロールプレイ/ワークショップ

平成29年2月12日（日）第2日

開始時間	終了時間	所要時間	内 容	会 場	対応する開催指針の形式
8:00	8:30	30	受付		
8:30	9:15	45	呼吸困難	全体会場	講義
9:15	9:25	10	休憩		
9:25	10:10	45	消化器症状	全体会場	講義
10:10	10:20	10	休憩		
10:20	13:05	165	コミュニケーション (ロールプレイと講義)	全体会場	ロールプレイ/講義
13:05	13:25	20	ふりかえり	全体会場	感想など

815 テスト時間を含む総講義時間



「第1回 地域医療支援病院運営委員会」 を開催しました

地域医療連携室長 **水澤 秀行**

2月23日（木）15時より、当院大会議室において「渋川医療センター」として第1回となる地域医療支援病院運営委員会を開催しました。



委嘱状の交付
(斎藤院長より川島理渋川地区医師会会長へ)

地域医療支援病院制度は、地域で必要な医療を確保し、地域の医療機関の連携等を担うため、かかりつけ医・かかりつけ歯科医等を支援する医療機関として創設されたものです。

患者さんに『身近な地域で医療が提供されることが望ましい』という観点から、紹介患者さんに対する医療の提供、医療機器の共同利

用等の実施を通じて、効率的な医療提供体制の構築を図ることを目的としています。



斎藤院長のご挨拶

当院は、遡ること西群馬病院時の平成22年3月26日に群馬県知事より、渋川医療圏における「地域医療支援病院」の承認を受けました。



委員会開催中の様子

本委員会の開催は、承認要件の一つとして定期的な開催が義務付けられており、委員の構成は、地域医療支援病院の所在する地域の医療を確保する上で重要な関係を有する者を中心とするべきとされております。当院では、渋川市長、渋川地区医師会会長、渋川保健福祉事務所長、渋川警察署長、渋川広域消防本部消防長を外部からの委員としています。

当日は、第1回に当たるため、最初に斎藤院長より全委員に委嘱状の交付を行いました。続いて斎藤院長の挨拶に始まり、議題である規程・要綱の確認並びに業務の報告を事務局より行いました。後半は意見交換を行い、患者数も安定しつつあり当院の事業が順調に進んでいる点、救急患者や紹介患者の受入が、自地域を含め他地域からの受入も増加している点、救急患者の他地域への流出が防げている点などを確認しました。

今後も本委員会を通じて地域の声を取り上げ、地域の皆さま方により安心・安全な医療を提供できるよう、当院の基本理念である「北毛地域の基幹病院として地域の医療機関と連携し、その役割を果たします」を実践して参ります。

渋川青年会議所創立50周年記念事業開催

管理課長 竹下 秀之

平成29年3月19日(日) 9:30より、渋川青年会議所創立50周年記念事業が当院で開催されました。渋川青年会議所は、渋川市内の20～40歳の若者が集まり、まちづくりやひとづくりに貢献していくことを目的に設立されたそうです。

当初、「なぜ渋川医療センターで渋川青年会議所の50周年記念事業を？」と担当者に尋ねたところ、「50周年記念事業では、渋川市と周辺の小学5～6年生を対象に、渋川の地を愛してもらえるような企画を考えていました。渋川医療センターはすばらしい病院であり、子どもたちにこの病院を身近に知ってもらうことで、この病院で働きたいと思ったり、立派な病院があれば安心してもらえるなど、将来も渋川の地で暮らしてもらえるようになるのではないかと思います」とのこと。

幹部の了解をいただき、看護部門に「救命措置」の講義を、また薬剤、検査、放射線にはそれぞれの部門見学をお願いしたところ快く引き受けていただきました。



救命措置の講義は9班に分かれて、蘇生人形を使っての心臓マッサージや AED の使用方法などを体験しました。「うまい」、「すごい」といった看護師さんたちの言葉に子どもたちもノセられ、懸命に心臓マッサージを行っていました。

また、放射線科の見学では CT や MRI の3D画像を、検査科では顕微鏡による白血球の画像、薬剤部では錠剤分包機を使っておかしな薬を分包したりなど、各部門で工夫を凝らした趣向を考えていただきました。

午後からは、渋川青年会議所よりいただいたハナミズキやサツキなどが、子どもたちの手により緩和ケア庭園に植えられ盛況のうちに終了しました。参加した子どもたちが、これからの渋川医療センターを支えてくれるといいなあと、忘れられない1日となりました。



「救命救急法講習会」を担当して

4階西病棟 看護師 岡寄 直子

私は3月19日、渋川広域圏在住の小学5～6年生を対象にした救急蘇生法の講師として参加させて頂きました。講習会の到達目標を「救命のために自分たちができる事を知り、救命のための行動がわかる。救命の行動が命のリレーであることがわかる」と掲げ、総勢40名の小学生を9つのグループに分け、意識の確認・胸骨圧迫・AEDの実践を行いました。病棟から各1名看護師が参加し、各グループの講師を努め、小学生の元気に負けないように、元気よく大きい声で！講習会に臨みました。



小学生対象の救命救急の講習は初めての体験でしたが、参加してくれた小学生たちは、真剣に話を聞き、演習に取り組んでくれました。特に胸骨圧迫に必死に取り組む姿は、とても立派で頼もしいものでした。

講習会の最後に、総仕上げとして、代表メンバーに「意識消失している人を発見したところから救命処置を行うまでの流れ」を実際にやってもらいました。びっくりするほどの名演技で、一緒に参加していた大人の方も感心されていました。

今回の講習では、命の大切さ、目の前の救うべき人・命に対し、小学生の自分たちでもできる事があるという事を一番伝えたかったわけですが、最後まで元気に笑顔で取り組んでいる様子から、伝えたい事が伝わったと思っています。みんなで協力して救命の体験をした事は、心に残る時間だったのではないかと思います。講師として参加させて頂き、貴重な経験をさせて頂いた事に感謝致します。



看護学生

インターンシップを開催して

副看護部長 古見 薫

春休みに入ったばかりの3月4日、4月から最終学年となる学生さんを対象に、インターンシップを開催しました。当初20名程度と考えておりましたが、そくそくと参加希望が寄せられ、当日は実習受け入れ学校7校から35名の学生さんの参加がありました。

春休み期間中であり、どのくらいの学生さんが集まってくれるか不安がありました。ホームページでのお知らせが功を奏したものと、ほっと胸をなでおろしました。

当日は、病院や看護部の概況・教育体制の説明、4月から2年目となる看護師・認定看護師をめざす先輩看護師から、働く自分のこと、仲間の事、病棟の様子、今の楽しみ、将来の夢などを聞き、その後はグループに分かれて直接先輩看護師に質問するなど、明るい雰囲気の中、午前中の2時間が終了しました。

午後は、白衣に着替え希望の病棟に行き、説明を受け看護体験をしました。自分の働く病院を決めるといふ実習とは違う気持ちで参加し、約3割が当センターでの実習経験・実習予定のない学生さんでしたが、病棟での看護体験により就職後イメージすることができた、との声を聞き、病棟で関わった看護師も満足した一日でした。

正味5時間という短い時間でしたが、北毛地域の基幹病院としての1年間の実績、がん・結核・重心に加え、

救急・災害医療、第二種感染症対応と、急性期から慢性期まで幅広い分野の経験ができる当院の魅力、開院以降培った看護の実際をお伝えする機会を持てたことは、私たち看護師にとっても貴重な時間となりました。

4月から最終学年として、実習・総まとめ、国家試験受験への準備の時期となります。

一人でも多くの学生さんが、当センターに就職して下さることを願っております。



平成28年度 渋川医療センター職員表彰式

庶務班長 山岸 秀樹

平成29年3月31日（金）午後3時より、毎年恒例の渋川医療センター職員表彰式が行われました。
受賞者は以下のとおりです。

○院内学会の部

- ・最優秀賞 田村芳美泌尿器科部長「腎外傷87例の臨床的検討 スノーボード損傷を中心とした考察」
- ・優秀賞 黒澤裕美3階東病棟看護師「重症心身障害児（者）病棟の新たな歴史」

○教育研修委員会の部

・院内講演会参加優秀者

【事務職・技能職・福祉職・介助職部門】吉田勝財務管理係長

【薬剤・放射線・検査・栄養・リハビリ・視能訓練】吹澤はるか作業療法士

【医局】澤村守生臨床研究部長

【看護師長・看護師A】原田博子外来看護師長

【看護師B（交代制勤務）】武井まどか緩和ケア病棟副看護師長

○医療安全に関する院内教育講演会の部

・最優秀賞

3階西病棟「これで、安全、大丈夫？ ～KYTトレーニングで安全な環境を考える～」

・優秀賞

リハビリテーション科「E-call事例を通して、リハビリ室の運用を検討してみよう」

○業績評価の部

・最優秀賞

青木美佳看護師長、関麻希子看護師、錦香織看護師、小林克美看護師、中智牧看護師、神道美華看護師、関根薫看護師、小林美穂看護師、田村美月看護師、高橋佑果看護師

・優秀賞

石北直之小児科医長、保田美穂主任栄養士



新入職員を迎えて

管理課長 竹下 秀之

平成29年4月3日（月）8：30より、辞令交付式を挙行了しました。当日は新採用者、異動者等合わせて66人が辞令を受け取り、晴れて渋川医療センター職員の仲間入りとなりました。特に、診療部は待望の臨床研修医が2名入職していただき、50名を超える医師体制となりました。コメディカルの職員も着実に増えており、急性期を担う北毛の拠点病院として体制強化が進んでいるところです。

思い起こせば1年前、西群馬病院と渋川総合病院が統合し、第3地点へ移転するといった激動の時期を乗り越え、今こうして辞令交付に立ち会えたことを非常にうれしく思います。



院長からの辞令交付



66名が辞令を受けました。

新採用者オリエンテーションは4日間にわたり行われ、3日目の夕方には新入職員の顔合わせを目的に、新採用者歓迎会を開催しました。私が新人歓迎会に参加するのは3回目ですが、毎回趣向を凝らした職場紹介と新人あいさつが行われます。特に看護部門はなかなかの熱の入れようで、「ノンアルコールでよくここまで…」と呆れ、いやいや感心するばかりです。この熱



新人歓迎会の院長あいさつ



歓迎会には多くの職員が参加しました



各部門いろいろ趣向を凝らしたあいさつでした。



意があれば、渋川医療センターはこれからも素晴らしい病院であり続けると確信しております。

新入職員が、いつまでも働きたいと思う職場であり続けられるよう、頑張っていきたいと思います。

渋川・吾妻保健医療圏基幹病院 事務長懇話会について

医事課長 水澤 秀行

標題の懇話会については、平成26年4月に北毛病院様より「渋川地区の病院事務長間において、連携強化の観点から情報交換を行いたい」との申し入れを受け、「渋川市保健医療圏基幹病院事務部長懇話会」としてスタートしました。

発足当初の参加病院は、北関東循環器病院様・渋川中央病院様・関口病院様・北毛病院様・渋川総合病院様（当時）・西群馬病院（当時）の6病院でした。当時の渋川総合病院を会場に2ヶ月に一度開催し、参加者は事務長をはじめ各病院2名程度、総勢10名程度で意見を交わしています。

会議では、各々自病院の患者数や病床の稼働状況、診療収入の基となる施設基準の取得状況等の報告に加え、自院の特色・今後の動向・問題点の検討や情報交換を積極的に行い、地域連携の強化と互いの親睦を深めています。昨年4月に西群馬病院と渋川総合病院の統合により、渋川医療センターが開設し5病院となり会場も当院に移りました。

今までの活動としては、他職種の連携に発展して行きたい!! との思いも込めて、看護部長合同での開催（平成27年12月）し、顔合わせと看護部門の勤務体系や管理についての情報交換を行いました。また、昨年11月には群馬県・健康福祉部・医務課の方をお招きして『群馬県の地域医療構想について』の講演を当院にて開催し、内外併せて80名程度の方にご参加いただきました。

時期を同じく昨年11月より原町赤十字病院様が新たに加わり、懇話会の名称も標題に変更し、現在は6病院で開催しています。

発足から4年目を迎え、開催回数も15回を数えます。メンバーの入れ替わりもありますが、今後も互いに情報交換を積極的に行い、親睦を深め合いながら、地域医療の発展に少しでも貢献していきたいと思っております。

講演会のご案内



テーマ
群馬県保健医療計画・地域医療構想について

群馬県 健康福祉部 医務課
医療計画係長 様

内容
「がん」「脳卒中」「急性心筋梗塞」「糖尿病」などの、医療連携体制等に関する内容を盛り込んだ計画について説明があります。
また、2025年に向け、病床の機能分化・連携を進めるために策定する地域医療構想について、渋川及び吾妻地域を中心に説明があります。

日時・場所
11月7日(月) 16:00～16:45 大会議室

主 催：渋川保健医療圏基幹事務部長懇話会
協会の先：医事課長・水澤（P3680・内2160）

平成 28 年度 講演会案内



重症心身障害病棟だより

行事「桃の花会・誕生会」を実施して

療育指導室 主任保育士 登坂 美智子

去る3月3日(金)、平成28年度の最後の行事「桃の花会・誕生会」が東西各病棟に分かれ行われました。

前半は2月、3月生まれの方の誕生会です。誕生者を紹介し、誕生カードプレゼント贈呈、ご家族、職員からお祝いのコメントをいただき、今年度は「水族館にいこう」というテーマで個々の顔写真を魚に張り付け、「ハッピーバースディ」をみんなで合唱し誕生会は終了となりました。

後半の桃の花会ではひな祭りの由来から始まり、お雛様クイズ、手作りのひな壇を使用しての間違い探しを行いました。間違い探しでは三人官女、五人囃子の位置を変えるなどしてご家族を中心に行っていただき、少し難しかったので「知らなかった」「勉強になった」という声が聞かれました。今回の桃の花会・誕生会では歌やひな祭りを通して季節が感じられ、活動の最後には西群馬病院から新病院に移転してきた様子やこの一年体験したことを「思い出のアルバム」の替え歌にし、全員で合唱し、賑やかな雰囲気一年を締めくくることができました。

来年度も利用者さんの笑顔がたくさん見られるような行事を、関係部署と協力し考えていきたいと思えます。



障害者虐待防止研修会を開催しました

療育指導室 児童指導員 中嶋 歩

平成29年3月6日（月）、群馬県障害者権利擁護センターの賤津さんを講師にお招きし、療育訓練室で障害者虐待防止研修会を開催しました。今回は重症心身障害病棟に関わるスタッフを中心に研修会を企画しま



したが、他病棟の看護師やコメディカルのスタッフの参加もあり、合計24名の参加者数となりました。研修会では、障害者虐待防止法や虐待を防止するための体制整備など、賤津さんより1時間のご講義をいただき、終了後には参加スタッフにアンケートを実施しました。回収したアンケートには「言葉かけや対応をさらに注意していこうと思った」「日々の業務の中にたくさんの

虐待の影が潜んでいることを考えさせられた」「周りの職員との相互チェックが必要と感じた」など、たくさんの感想が寄せられ、多くのスタッフが自分自身の行動を振り返ることができる有意義な時間になりました。また、利用者の尊厳を守るために組織で考えてチームで情報共有し検討していくことが必要であり、虐待を防止するためにもスタッフのチームワークが欠かせないことを改めて考えさせられました。今回の研修会に向けては、虐待防止のポスターを重症心身障害病棟の看護師や療養介助員、療育指導室等が作成し、病棟に掲示をして虐待の防止を周知しています。各スタッフが利用者に対する日々の関わりを見直し、「このくらいは…」ということが虐待に繋がらないようにしたいと思います。

今後は定期的な自己点検チェックや院内研修、虐待防止における手引きやマニュアルの整備を行い、利用者に対するサービスの向上を目指していきたくと考えます。



—患者さんにとって耳よりな情報—

バスの運行本数が増えました！！

管理課長 竹下 秀之

渋川医療センターと渋川駅を結ぶバスにつきましては、渋川市市民部市民生活課のご尽力により平成29年4月1日より、朝1便と夕方1便が増便、朝1便が時間変更となりました。これによりますます便利になりましたので、ご来院の際は是非バスの利用をお願いいたします。

変更後（H29年4月1日より）

渋川医療センター行（平日）														
渋川駅	7:55	8:15	9:18	9:45	10:35	11:30	12:05	12:22	13:45	14:35	15:45	16:15	17:20	18:30
渋川新町	7:57	8:17	9:20	9:47	10:37	11:32	12:07	12:24	13:47	14:37	15:47	16:17	17:22	18:32
渋川郵便局西	7:58	8:18	9:21	9:48	10:38	11:33	12:08	12:25	13:48	14:38	15:48	16:18	17:23	18:33
寄居町会館前	7:58	8:18	9:21	9:48	10:38	11:33	12:08	12:25	13:48	14:38	15:48	16:18	17:23	18:33
東町	8:00	8:20	9:23	9:50	10:40	11:35	12:10	12:27	13:50	14:40	15:50	16:20	17:25	18:35
白井	8:02	8:22	9:25	9:52	10:42	11:37	12:12	12:29	13:52	14:42	15:52	16:22	17:27	18:37
渋川医療センター	8:05	8:25	9:28	9:55	10:45	11:40	12:15	12:32	13:55	14:45	15:55	16:25	17:30	18:40

渋川駅行（平日）														
渋川医療センター	8:07	8:27	9:40	10:00	10:50	11:50	12:25	13:09	14:05	14:50	16:05	16:35	17:40	18:45
白井	8:08	8:28	9:41	10:01	10:51	11:51	12:26	13:10	14:06	14:51	16:06	16:36	17:41	18:46
東町	8:10	8:30	9:43	10:03	10:53	11:53	12:28	13:12	14:08	14:53	16:08	16:38	17:43	18:48
寄居町会館前	8:12	8:32	9:45	10:05	10:55	11:55	12:30	13:14	14:10	14:55	16:10	16:40	17:45	18:50
渋川郵便局西	8:13	8:33	9:46	10:06	10:56	11:56	12:31	13:15	14:11	14:56	16:11	16:41	17:46	18:51
渋川新町	8:14	8:34	9:47	10:07	10:57	11:57	12:32	13:16	14:12	14:57	16:12	16:42	17:47	18:52
渋川駅	8:17	8:37	9:50	10:10	11:00	12:00	12:35	13:19	14:15	15:00	16:15	16:45	17:50	18:55

渋川医療センター行（土日祝日 12/31~1/3）														
渋川駅	9:18	10:10	11:15	12:05	12:22	14:35	16:35	18:30						
渋川新町	10:12	10:12	11:17	12:07	12:24	14:37	16:37	18:32						
渋川郵便局西	10:13	10:13	11:18	12:08	12:25	14:38	16:38	18:33						
寄居町会館前	10:13	10:13	11:18	12:08	12:25	14:38	16:38	18:33						
東町	10:15	10:15	11:20	12:10	12:27	14:40	16:40	18:35						
白井	10:17	10:17	11:22	12:12	12:29	14:42	16:42	18:37						
渋川医療センター	10:20	10:20	11:25	12:15	12:32	14:45	16:45	18:40						

渋川駅行（土日祝日 12/31~1/3）														
渋川医療センター	9:40	10:30	11:35	12:25	13:09	14:50	16:50	18:45						
白井	9:41	10:31	11:36	12:26	13:10	14:51	16:51	18:46						
東町	9:43	10:33	11:38	12:28	13:12	14:53	16:53	18:48						
寄居町会館前	9:45	10:35	11:40	12:30	13:14	14:55	16:55	18:50						
渋川郵便局西	9:46	10:36	11:41	12:31	13:15	14:56	16:56	18:51						
渋川新町	9:47	10:37	11:42	12:32	13:16	14:57	16:57	18:52						
渋川駅	9:50	10:40	11:45	12:35	13:19	15:00	17:00	18:55						

■の時刻は渋川駅～伊香保温泉の路線となります





独立行政法人
国立病院機構

渋川医療センター

看護の日イベント



看護の日はナイチンゲールの誕生日であり、
看護のこころを皆さんのなかに育む
きっかけとなるように願いを込めて制定された日です



日々の生活を健康に過ごすために、
健康状態をチェックしてみませんか。

日 時：5月12日（金）
10時30分～14時30分

場 所：道の駅こもち 広場前

内 容：健康測定・栄養相談・健康相談

参加費：無料

予約等は不要です。
お気軽にお越し
ください。



我が家の アイドル

我が家の悪ガキ4人
衆。いつもどこでも大騒
ぎです。

みんな元気いっぱい自
由なのでものすごく疲
れますけど、私が毎日楽
しく頑張れるのはこの子たちのおかげ。それから旦那さん
の協力も。

お母さん、今日もパワー全開でがんばります。
宜しくお願いします。

【看護師 Wさん】

※このコーナーは職員の家庭のアイドルを紹介しています。



私の趣味・ペット・自慢

利根川沿いに自転車
専用道があります。趣
味と実益(運動不足解
消)をかねて時々新前橋
で電車を降りて当院ま
で自転車で通勤してい
ます。前橋市内のスタ
ジアム、県庁、高校球

児を見た後は赤城山、榛名山、温泉が出迎えてくれ、その
間にもたくさんの巨大な橋、種々の木々、七変化する川の
風景があります。時期により桜、乗馬クラブなどなかなか
飽きません。だいぶ筋肉もついて少し健康的になった気が
します。



【病理診断科 鈴木 司さん】

※このコーナーは職員の趣味などの紹介コーナーです。



渋川医療センター外来診療担当医表

診療科	時間帯	月	火	水	木	金
総合診療科	午前	アクザワ ノブヒロ 阿久澤 暢洋	アクザワ ノブヒロ 阿久澤 暢洋	アクザワ ノブヒロ 阿久澤 暢洋	アクザワ ノブヒロ 阿久澤 暢洋	アクザワ ノブヒロ 阿久澤 暢洋
	午後	アクザワ ノブヒロ 阿久澤 暢洋(予約)				アクザワ ノブヒロ 阿久澤 暢洋(予約)
呼吸器内科	午前	オオサキ タカシ 大崎 隆	イイジマ ヒロノブ 飯島 浩宣	トミザワ ヨシオ 富澤 由雄(新患)	ジングウ アスカ 神宮 飛鳥	クワコ トモヒト 桑子 智人
	午前	ヨシイ アキヒロ 吉井 明弘	オオサワ ショウ 大澤 翔	ツチャ ユキコ 土屋 友規子	サクライ レイコ 櫻井 麗子(群大)	ワタナベ サトル 渡邊 寛
	午前	サイトウ リュウセイ 斎藤 龍生	スナガ ノリアキ 砂長 則明(群大)	サイトウ リュウセイ 斎藤 龍生	マスタ トモミ 増田 友美(群大)	トミザワ ヨシオ 富澤 由雄(新患)
内分泌・代謝内科 内 科	午前	カサイ ユウコ 笠井 裕子(群大) (内分泌・代謝内科)		オオサキ アヤ 大崎 綾(群大) (内分泌・代謝内科)	カワシマ チエコ 川島 智恵子 (内 科)	ヨシノ サトシ 吉野 聡(群大) (内分泌・代謝内科)
循環器内科	午前	ヤマギシ トシハル 山岸 敏治	ヤマギシ トシハル 山岸 敏治 (第1.3.5週) イワサキ トシヤ 岩崎 俊弥(北関) (第2.4週)	ヤマギシ トシハル 山岸 敏治	クマガイ ヒサオ ★熊倉 久夫(北関) (第1.3.5週 14:00~) ナカシマ クニキ ★中島 邦喜(北関) (第2.4週 14:00~)	ヤマギシ トシハル 山岸 敏治
	午後					
小児科 (重心のみ予約制)	午前		イシキタ ナオユキ 石北 直之(重心)	イシキタ ナオユキ 石北 直之(重心)	イシキタ ナオユキ 石北 直之(重心)	
	午後			シミズ ノブヲ 清水 信三(重心)		
血液内科	午前	ミハラ マサヒロ 三原 正大	イソダ アツシ 磯田 淳(予約)	マツモト モリオ 松本 守生	マツモト モリオ 松本 守生	ミハラ マサヒロ 三原 正大
	午後		オガワ ヨシユキ 小川 孔幸(群大) (第2週・予約)			
	午前	イソダ アツシ 磯田 淳	ミヤザワ ユリ 宮澤 悠里	ミヤザワ ユリ 宮澤 悠里	イソダ アツシ 磯田 淳	
	午前	オオサキ ヨウヘイ 大崎 洋平(群大) (第1.3.5週) イリウチシマ ヒロノ 入内島 裕乃(群大) (第2.4週)	サワムラ モリオ 澤村 守夫	ミハラ マサヒロ 三原 正大	ミヤザワ ユリ 宮澤 悠里(予約)	
消化器内科	午前	ナガジマ ヨシミ 中島 良実(群大)	ナガシマ タモン 長島 多聞	ヤマザキ ユウイチ 山崎 勇一(群大)	アライ ヨウスケ 新井 洋佑	フルヤ ケンスケ 古谷 健介
	午前		カナヤマ ユウキ 金山 雄樹(群大)		カキザキ サトル 柿崎 暁(群大) (第2.4週)	
緩和ケア科 (予約制)	午後	コバヤシ ゴウ 小林 剛		コヤ ヒロコ 小屋 紘子	コヤ ヒロコ 小屋 紘子	コバヤシ ゴウ 小林 剛
精神腫瘍科 (予約制)	午後	マジマ タケヒコ 間島 竹彦			マジマ タケヒコ 間島 竹彦	
放射線治療科 (予約制)	午前	マツウラ マサナ 松浦 正名	イマエダ マスミ 今枝 真澄	ナカムラ ユウジ 中村 勇司	マツウラ マサナ 松浦 正名	イマエダ マスミ 今枝 真澄
	午後	マツウラ マサナ 松浦 正名	ナカムラ ユウジ 中村 勇司	ナカムラ ユウジ 中村 勇司	マツウラ マサナ 松浦 正名	ナカムラ ユウジ 中村 勇司
麻酔科	午前		ウチハシ ヨシタカ 内橋 慶隆			ウチハシ ヨシタカ 内橋 慶隆

外来受付時間 8時30分～11時00分 注) 担当医変更の場合もございますので、予めご了承ください。

※原則、午後は予約診察のみとなりますが、★印の診察については受付時間は15:00までとなります。

※(予約)と記載がある場合は、予約患者さんのみの診察となります。

※再診予約の方については16:00まで再来受付機での受付が可能です。

診療科	時間帯	月	火	水	木	金
外科(消化器)	午前	マキタ フジオ 蒔田 富士雄	ヨシナリ ダイスケ 吉成 大介	コバヤシ ミツノブ 小林 光伸	マキタ フジオ 蒔田 富士雄	タナハシ ヨシフミ 棚橋 美文
	午後				スヶガワ シンサク ★助川 晋作 (肛門科・消化器外科) (第1.3.5週 13:30~)	
	午前		タナハシ ヨシフミ 棚橋 美文		タカハシ ケンゴ 高橋 研吾	
外科(呼吸器)	午前	ナガシマ トシテル 永島 宗晃		カワシマ オサム 川島 修		カワシマ オサム 川島 修
脳神経外科	午前	ゴウダ ツカサ 合田 司	タカハシ アキオ 高橋 章夫	ゴウダ ツカサ 合田 司	タカハシ アキオ 高橋 章夫	ゴウダ ツカサ 合田 司
	午後			ミヤギシマ タカアキ ★宮城島 孝昭(群大) 14:00~		
整形外科	午前		イツカ ヨウイチ 飯塚 陽一(群大)		ヤナガワ タカシ 柳川 天志(群大)	
	午後		イツカ ヨウイチ 飯塚 陽一 (群大・予約)	オオサワ タカシ 大澤 貴志(群大・予約) (第1.3.5週) オモダカ タクヤ 面高 拓矢(群大・予約) (第2.4週)	ヤナガワ タカシ 柳川 天志 (群大・予約)	
	午後	カヤカベ マサトモ 加家壁 正知(予約)	カヤカベ マサトモ 加家壁 正知		カヤカベ マサトモ 加家壁 正知	
泌尿器科	午前	タムラ ヨシミ 田村 芳美	タムラ ヨシミ 田村 芳美	オカベ カズヒコ 岡部 和彦 (第1.3.5週)	タムラ ヨシミ 田村 芳美	カトウ ハルオ 加藤 春雄
	午後	タムラ ヨシミ 田村 芳美(予約)	タムラ ヨシミ 田村 芳美(予約)	カトウ ハルオ 加藤 春雄 (第2.4週)	カトウ ハルオ 加藤 春雄(予約)	タムラ ヨシミ 田村 芳美(予約)
	午前 10:00まで	カトウ ハルオ 加藤 春雄	カトウ ハルオ 加藤 春雄	タムラ ヨシミ 田村 芳美	カトウ ハルオ 加藤 春雄	タムラ ヨシミ 田村 芳美
耳鼻咽喉科	午後	サカクラ コウイチ ★坂倉 浩一(群大) 14:30~				
皮膚科	午前	ヤマナカ マサヨシ 山中 正義	ヤマナカ マサヨシ 山中 正義	ヤマナカ マサヨシ 山中 正義	アオヤマ クミ 青山 久美	ヤマナカ マサヨシ 山中 正義
	午前	アオヤマ クミ 青山 久美	イシカワ マイ 石川 真衣(群大) (第2.4週)	アオヤマ クミ 青山 久美		アオヤマ クミ 青山 久美
甲状腺科	午前	ヨコタ トオル 横田 徹	ヨコエ タカオ 横江 隆夫	ヨコタ トオル 横田 徹		ヨコエ タカオ 横江 隆夫
	午後			ヨコタ トオル 横田 徹(予約)		
乳腺科	午前	ヨコエ タカオ 横江 隆夫	ヨコタ トオル 横田 徹	ヨコエ タカオ 横江 隆夫		ヨコタ トオル 横田 徹
	午後		ヨコタ トオル 横田 徹(予約)	サトウ アヤコ 佐藤 亜矢子		ヨコタ トオル 横田 徹(予約)
眼科	午前	タカヤマ マユコ 高山 真祐子	タカヤマ マユコ 高山 真祐子	タカヤマ マユコ 高山 真祐子	タカヤマ マユコ 高山 真祐子	タカヤマ マユコ 高山 真祐子
	午後		タカヤマ マユコ 高山 真祐子(予約)	タカヤマ マユコ 高山 真祐子(予約)		タカヤマ マユコ 高山 真祐子(予約)
	午前				スズキ コウタ 鈴木 康太(群大)	

セカンドオピニオン担当表 (平成29年5月1日現在)

科 別	予約時間	月	火	水	木	金
呼吸器内科 (肺腫瘍)	午前10時～	—	—	—	富澤 由雄	—
	午後3時30分～	斎藤 龍生	—	斎藤 龍生	—	—
呼吸器外科	午前中	川島 修	—	—	—	—
血液内科	午後2時～	松本 守生	—	—	磯田 淳	—
乳腺・甲状腺外科	午後2時30分～	横江 隆夫 (午後～)	—	横田 徹	—	—
消化器外科	午 後	蒔田富士雄	—	小林 光伸	—	—
放射線科	午後3時～	—	—	松浦 正名	中村 勇司	—
緩和ケア科	午 後	小林 剛	—	—	—	小林 剛
皮膚科	午 後	山中 正義	—	—	—	—
泌尿器科	午後3時30分～	—	—	—	—	田村 芳美
脳神経外科	午 後	—	—	宮城島 孝昭	—	—

※対象者:原則として患者さん本人、患者さんの同意を得た家族 費用:30分毎に5,400円

※お問い合わせ先:TEL0279-23-0626 地域医療連携室(直通)

患者さんの権利

1. 最善の医療サービスを受ける権利
2. 人格・人権を尊重される権利
3. 知る権利
4. 自己決定権
5. プライバシーを保護される権利

がん相談支援センター

- がんに関するご相談は「がん相談支援センター」でお受けします。
担当:ソーシャルワーカー(尾方・山田・山浦・落合)
電話:0279-24-9229(直通)
(受付時間は平日8:30~17:15です)
- メールによるご相談は、下記にて終日受け付けておりますが、回答は若干の日数を要する場合がございます。
E-mail:shibukawamc@hosp.go.jp

看護の理念 患者さんの立場に立ち、心あたたかく、信頼に応える看護を提供します。

看護の基本方針

1. 患者さんの気持ちを大切に、思いやりとまごころ込めた看護を提供します。
2. 患者さんと共に考える看護の実践により患者さんが自ら意思決定が行えるよう支援します。
3. 地域の人々と連携を図ることで患者さんの生活の質の維持向上に努めます。
4. 患者さんの尊厳と権利を尊重した質の高い看護を提供します。
5. 看護の専門性を追求し、根拠に基づいた安全で安心な看護を提供します。

編 集 後 記

残雪の谷川岳を望み白井宿では八重桜が満開となり恒例の八重ざくら祭りが開催され当院職員も参加するなか賑わいをみせていました。

渋川医療センターでは今春、開院1年を迎え北毛地域の基幹病院として地域への役割を果たすべく一歩一歩順調に進めています。医師をはじめとする多くの新しい職員も加わり2年目のスタートです。ウィズでは引き続き渋川医療センターの活動などについて紹介してまいります。(T・K)



独立行政法人 国立病院機構 渋川医療センター

〒377-0280 群馬県渋川市白井383番地 TEL 0279-23-1010 (代) FAX 0279-23-1011

<http://www.hosp.go.jp/~shibukawamc>